

Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs

2024 年募集 海外助成 応募要項

助成テーマ:「貧困の解消」に向けて取り組む NGO の組織基盤強化

誰もが自分らしく生き活きとくらす「サステナブルな共生社会」の実現に向けて

パナソニックグループは創業以来、「社会生活の向上」と「世界文化の進展」に向けて、事業活動とともに企業市民活動を通じて社会課題の解決や、より良い暮らしの創造と世界中の人々の幸せ、社会の発展に貢献すべく取り組んでまいりました。

国際社会共通の持続可能な開発目標である「SDGs」には、目標 1 に「貧困の解消」が掲げられています。長期化するウクライナ紛争や中東情勢の緊迫化など国際社会の不安定化に加え、気候変動の影響も受け世界各地で自然災害が頻発するなか、途上国における絶対的貧困のみならず、新興国・先進国においても相対的貧困の深刻化による格差が拡大しており、その解決に向けた世界規模での継続的な取り組みが必要とされています。

本ファンドでは、SDGs の大きな目標である「貧困の解消」に向けて取り組む NPO/NGO を対象に、「海外助成」「国内助成」の 2 つのプログラムで、第三者の客観的視点を取り入れながら組織課題を明らかにする組織診断や、具体的な組織課題の解決、組織運営を改善するための組織基盤強化の取り組みに助成します。

なお、昨年度より「組織診断からはじめるコース」は組織診断だけではなく、組織基盤強化の実施にも取り組めるよう、助成実施期間と助成金額を改訂しています。

社会において重要な役割を果たす NPO/NGO の組織基盤強化の取り組みを通じて、市民活動の持続発展、社会課題の解決促進と新しい社会価値の創造、社会変革に貢献し、誰もが自分らしく生き活きとくらす「サステナブルな共生社会」の実現を目指してまいります。

組織の自立的成長と自己変革に挑戦する NPO/NGO の皆様からの応募をお待ちしております。

2024 年 4 月

パナソニック ホールディングス株式会社
特定非営利活動法人国際協力 NGO センター

I.助成について

1. 助成対象団体

新興国・途上国など支援を必要としている国・地域での貧困の解消を目指し、同国・地域の人びとがその生活の中で直面する様々な権利(*)へのアクセスの不均衡の是正や、貧困層や脆弱な状況にある人びとのレジリエンスの向上に資する活動に携わる NGO をはじめとする非営利組織を助成の対象とします。

*世界人権宣言で保障された権利、各国・地域の社会保障制度、経済活動等

目的達成に向けて他のステークホルダーと協働しつつ組織の自己変革に挑戦する、以下の要件を満たす団体が、応募資格を有します。

- ① 民間の非営利組織であること(法人格の有無や種類は問いません。一般社団法人の場合は非営利型のみ)
- ② 日本国内で法人登記がされている、または日本国内に事務所があること
- ③ 本助成事業の主体となる担当者が日本国内に在住していること
- ④ 新興国・途上国などで、貧困の解消、または貧困と関連のある問題の解決に取り組んでいること (調査提言・キャンペーン等を主たる活動とする団体については、活動の場が日本国内である場合も可)
- ⑤ 団体の設立から3年以上経過していること
- ⑥ 団体が給与または報酬(業務委託含む)を支給するスタッフを有すること
- ⑦ 政治・宗教活動を目的とせず、また、反社会的な勢力とは一切関わりがないこと

※年間予算 1,000 万円以上の組織規模を想定していますが、必須要件ではありません。

2. 助成対象となる事業とコース

貧困の解消に向け、第三者からの多様で客観的な視点を取り入れて組織基盤強化に取り組む団体を支援します。

NPO/NGO の支援機関や組織経営の実践者、または経営支援の専門家等の第三者の協力を得て、自らの組織の診断や基盤強化に取り組んでいただきます。

取り組み課題を明確にし、その解決・改善に適切な協力者(個人または組織)を団体独自で選定してください。応募に先立ち、依頼先に応募事業計画を説明のうえ、十分に相談してください。複数に協力を求めることも、可能です。

(1) 組織診断からはじめるコース:

第三者による組織診断を通じて組織全体を分析し課題と原因を明らかにしたうえで、その結果を踏まえた助言・指導に基づいて課題解決の方向性を検討し、計画を立案・実施します。

(2) 組織基盤強化コース:

組織基盤強化に関する中長期計画に基づく具体的な組織運営上の課題解決に向けて、第三者の協力を得ながら具体的な取り組みを行います。 NGO セクター全体に裨益する先駆的・独創的な取り組みも歓迎します。

*年間予算規模 1 億円以上の団体による応募に関しては、セクター全体に裨益する先駆性・独創性を特に重視します。

*応募団体が主体となって海外の事業地の関係者と一緒に取り組む事業も対象となり得ます。その場合、本助成事業の実施及び予算執行管理の責任は応募団体が担います。

<本プログラムで支援する組織基盤強化内容のイメージ>

- ・人材面(人数増加・能力向上等)
- ・事業面(連携先拡大・国際基準の導入等)
- ・資金面(財源の多様化・自己財源の増加等)
- ・ガバナンス面(中長期戦略策定・ミッションやビジョン見直し・共有等)他

3. 助成金額とその用途

- (1)組織診断からはじめるコース 上限 150 万円
(2)組織基盤強化コース 上限 200 万円

2024 年の助成総額は新規・継続あわせて 1,500 万円を予定しています。

そのうち、アフリカ諸国に貢献する団体を 2 団体以上助成する予定です。

助成金の用途は、組織診断や組織基盤強化に必要な経費・人件費、コンサルティング費、助成事業の実施に必要な事務諸経費などです。

4. 助成期間

「組織診断からはじめるコース」「組織基盤強化コース」ともに、2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日の 1 年間

*「組織診断からはじめるコース」では、6 月末を目安に組織診断を終了し、それ以降は、診断結果をもとに基盤強化に向けた計画を策定・実施します。

いずれのコースも、次年度以降に継続助成に応募することができます。ただし、「組織診断からはじめるコース」の助成は初年度のみで、次年度以降は「組織基盤強化コース」への応募となります。新たな選考に基づき、継続助成の有無を決定します。

5. 助成の決定から終了までのスケジュール

2024 年 7 月 16 日(火)～31 日(水)	応募受付
2024 年 12 月中旬まで	選考結果通知、覚書締結
2025 年 1 月	助成事業開始
2025 年 1 月下旬	贈呈式
2025 年 6 月末	「組織診断からはじめるコース」組織診断終了
2025 年 6～7 月	中間ヒアリング
2025 年 7 月末	中間報告書提出(組織診断結果含む)
2025 年 8 月	継続助成応募締切
2025 年 12 月	助成事業終了
2026 年 1 月末	事業完了報告書提出
2026 年 2 月	成果報告会(成果発表)

*助成事業の終了後に、効果測定のための調査にご協力いただきます。

II.選考について

1. 選考方法

提出された応募書類に基づき、学識経験者、実務経験者などで構成された選考委員会にて選考を行います。選考過程において、事業報告書・会計報告書の請求や事務局によるヒアリングを実施する場合があります。

2. 選考基準

- (1) 応募する団体が「助成対象団体」の要件を満たしているか
- (2) 応募する団体が行う活動は「貧困の解消」を目指す SDGs の理念に合致しているか
- (3) 応募事業の企画内容について
 - ・組織診断や基盤強化に取り組む背景・問題意識・目的が明確であるか
 - ・組織診断や基盤強化における助成金の必要性が明確であるか
 - ・組織診断や基盤強化に取り組む時期として適切であるかどうか
 - ・組織診断や基盤強化のスケジュール・実施体制・予算について実現可能な企画であるか
 - ・組織診断や基盤強化に取り組むことで、組織の変革および貧困のない世界づくりへの貢献が期待できるか

〈以下は組織基盤強化コースのみ〉
- (4) 組織基盤強化に関する目標が明確で、その実現方法は適切であるか
- (5) 組織基盤強化の取り組み事例として、有効性および波及効果を期待できるか
- (6) NGO セクター全体に裨益する先駆的・独創的な取り組みとして期待できるか(年間予算規模 1 億円以上の団体の場合は、特に重視します。)

3. 選考結果通知

2024 年 12 月中旬までに担当者様宛に E メールにて通知します。

III.応募について

1. 受付期間と応募方法

受付期間：2024 年 7 月 16 日(火)～7 月 31 日(水)【必着】

応募方法：郵送（持参不可）

2. 応募書類

- ① 応募用紙〔様式 1〕 2 部
 - ② 応募用紙〔様式 2〕 10 枚以内 片面印刷:2 部（ホチキス留不要）
- *「応募用紙作成の手引き」を必ずご確認ください。

応募用紙および手引きは、パナソニックのウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

https://holdings.panasonic.jp/pnsf/npo_summary/2024_recruit.html

万一、ダウンロードできない場合などは、協働事務局まで E メールでご連絡ください。

3. 応募に関するご相談・お問合せ・応募書類の送付先

海外助成協働事務局 NPO 法人国際協力 NGO センター(JANIC) 担当:佐藤・伊藤

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 アバコビル 5 階

Email : pnsf-sdgs@janic.org (メールタイトルに「Panasonic サポートファンド」をつけてください)

Tel : 03-5292-2911 *リモートワーク実施のため、極力メールでお問い合わせください。

*個人情報の取り扱いについては次項をご覧ください。

総合事務局 パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社

*本プログラムは、パナソニック ホールディングス(株)より、パナソニック オペレーショナルエクセレンス (株)が委託を受け、運営しております。

<https://holdings.panasonic.jp/corporate/sustainability/citizenship.html>

パナソニックグループは、ものづくりやサービスなどの事業とは異なる方法で、社会課題と直接向き合い、従業員一人ひとりが社会貢献活動に取り組んできました。社会の一員として、人々の暮らしを、すこしでも豊かで平和なものにするために。

そして、これからの世界を、すこしでも明るく、照らしつづけるために。

誰もが自分らしく生き活きとくらす「サステナブルな共生社会」の実現に向けて、「貧困の解消」「環境活動」「人材の育成(学び支援)」という、3つの重点テーマを軸に、私たちは、さまざまな「企業市民活動」を行なっています。

海外助成・協働事務局 NPO 法人国際協力 NGO センター (JANIC)

<http://www.janic.org/>

JANIC(ジャンニック)は、1987年に創設された、100団体以上の日本のNGOを正会員とする、日本有数のネットワークNGOです。持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、多様なNGOの力の最大化を図ると共に、ネットワークをつくることで、NGO間、政府や企業、労働組合、自治体等との連携・協働を進め、社会課題解決の促進を目指しています。

「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」

応募に関する個人情報の取り扱い

Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs への応募の際に頂戴いたしました個人情報(以下「個人情報」といいます)の利用に関する取り扱いを以下のとおりお知らせします。

(1)取り扱い会社名および事業場名

パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社 企業市民活動推進部

(2)個人情報総括責任者もしくはその代理人の氏名又は職名、所属および連絡先

パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社 企業市民活動推進部 部長

(3)個人情報の利用目的

応募企画書に記入いただきました個人情報は、次の目的に利用します。

①「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」の運営や、応募いただいた皆様への連絡(応募受付、選考、選考結果通知、助成手続き 等)に利用します。

ご連絡は、電子メール、お電話、FAX、郵便等で差上げます。

②応募いただいた皆様へ、パナソニックグループが主催、共催、協賛、協力する社会貢献プログラムの案内等の情報を電子メール、郵便等で差し上げることがあります。

(4)個人情報の第三者提供について

取得した個人情報は第三者に提供することはありません。

(5)個人情報の取扱い委託について

取得した個人情報の取扱いを、「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」の運営、選考のために必要な業務に限定して、委託することがあります。

(6)開示対象個人情報の開示等および問い合わせ窓口について

ご本人からの求めにより、当社が保有する開示対象個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加または削除・利用の停止・消去(「開示等」といいます。)に応じます。開示等に応ずる窓口は、以下の「お問い合わせ先について」をご覧ください。

(7)お問い合わせ先について

パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社 企業市民活動推進部

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-2 東京ミッドタウン日比谷 14階

e-mail: pnsf.sdgs@kk.jp.panasonic.com

上記、「個人情報の取扱いについて」に同意のうえ、「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」の応募用紙に必要な事項を記載ください。

以上